

# 災害時の支援どう連携 台風被災教訓にニーズ探る

被災者の声に耳を傾け、多様なニーズをいかに把握し、効果的な活動に結びつけていくかを考えた。

## オンラインで議論

初の試みとなるオンライン訓練は1月に実施しており、支援団体の連携不足が課題となった。東日本大震災の教訓や、後想定される災害について学んだ。この日は2日目で、実行委員会の沢田健介委員長(53)は、ボランティアのネットワークづくりなどにつなげる訓練を継続開催している静岡を引き合

いに、「神奈川では顔の見えない関係をもっと必要だ」と強調した。

2019年10月の台風19号で、相模原市緑区の実家が崖崩れで全壊した外山泰典さん(45)は「倒木などの除去が進んだ」とボランティアの力を実感しつつ、足場の悪い作業に伴うけがの防止や安全管理の配慮が必要だったと振り返った。同市の本村賢太郎市長は「当初はボランティアの受け入れに課題があった」と反省点を挙げ、関係機関との連携をポイントとした。

友人とボランティアの助



災害時の支援に必要な連携についてオンラインで説明する実行委員長の沢田さん



か。とったと説明した。多摩川近くの自宅が浸水被害に遭った川崎市中原区の坂井良成さん(57)。一方で「どう復興するかを決めるのは被災者自身だが、どうすればいいか被災者は知らない」と述べ、暮らしの再建に必要な情報の提供も期待した。

科会に分かれて意見交換。避難所の分科会では、配慮の提供や感染予防、ペットとの同行避難といった新たな課題やニーズがあると「感染対策で分散避難が呼び掛けられ、対応が難しい」といった声が上がった。



崖崩れに巻き込まれた実家で、ボランティアとともに片付けに当たる外山さん。2019年12月、相模原市緑区

## 技術競つ作品

### 横須賀

ヨコス、理製菓専門学校(横須賀市汐入町)の生徒が日頃の学習で、技術習得の成果を発表する「敷島祭」第43回料理作品展(神奈川新聞)と後援)が行われた。普通科1、2年生は成果の発表と作品を展同3年生と専科、上級の生徒は日本、西洋料理、製菓のうち各自テーマを決めて取り組んだ計品を展示し、審査が行った。最優秀の学校長賞は普通科3年の高石凜生の「三年間の思い出」と

## 東神奈川 草木燃え

### 一時運転見合

11日午前5時35分、横浜市神奈川区東神奈川丁目のJR東神奈川駅出発前の横浜線東神奈川八王子行き普通電車の士が線路敷地内から煙ているのを発見、駅で消防に通報した。駅にある関係者用通路

地域のイベントや祭りに